

町づくりネットワーク これまで・これから

これまで 町政に関心を持つ・議会をもっと身近にしたい、それが私たちの原点です！

第1回 2月26日(日)午後4時から 「イーグルバスとの協定を知る」	協定内容や変更過程が不透明なまま。説明責任が果たされていない。議会軽視や住民との合意形成軽視是正が課題。
第2回 3月18日(日)午後3時から 「みんなで作る町の交通」	町の交通は教育・福祉など多様な分野の参画がないと、生活に密着した交通は実現しない。
第3回 5月13日(日)午後3時から 「町の政治は大丈夫？ みんなで議論・点検」	補助金投入は住民に還元されてこそ。議会の行政監視機能を問う。議長・副議長も行動や発言の政治的・道義的責任は明確。
第4回 6月24日(日)午後3時から 「情報公開制度はあれども」	制度があっても行政が情報を積極的に公開する姿勢が必要。庁舎改修工事の追加増額も昨年夏から判明していた。町議居住実体も選管は「6割居住」で実態ありとしていることが判明。

集会収支	第1回	第2回	第3回	第4回
参加者カンパ	1500	2410	2850	3250
郵送・資料代	930	2430	2510	2940
差し引き額	570	20	340	310

集会外でもカンパを頂戴しています。

EO氏より 80円切手5枚
TH氏より 1000円
SY氏より 2000円

これから 「見える」町政は、多くの住民が持つ感覚を議員も職員も共有することから！

町長交際費での金田石城氏あて支出を監査請求 (平成23年6月17日、1万円を支出)
篠原個人名で町に監査請求を出し、7月3日、監査委員に意見陳述をしました。

社協事業「おでかけご一緒ボランティア」 運輸局より是正をとの見解。

3月議会で予算が通過したのち、運輸局に違法性がないのか一住民として確認を求めました。回答は「個人による有償運送に相当する。事業要項の見直しが必要」とのことです。事業の目的は「地域コミュニティの醸成」としているのので、「住民参画」や福祉有償運送の事業体との話し合いは不可欠だったはずで、「住民との協働」はまだ不足です。

前田議員居住実態調査結果 町選管「6割居住でOK」は住民感覚とは大きな差
町会議員は「地域密着」での情報受発信、防災・民生など緊急時の行動力が問われる。
10日のうち4日はいないと本人が明言。「6割議員」でよしとする資質を問う。

議会報告会を受けての議会の対応と議長暴言への対処はいまだ不明

「町民に信頼される議員としての行動を常に心がけていきます」(議会基本条例より)を
実行し、「見える」議会に変えていこうという議員はまだ少数のようです。

7月・8月は定例会議はありません。

でも、個別のテーマで話をしたい方、ぜひミニ
会議の声かけをお願いします！

また、介護保険・地域福祉・環境問題・産業振興など、知りたいこと議論したいこともお寄せください。 ときがわ・自治研究会 世話人 篠原陽子

お問い合わせ / FAX送信先 65-4084 (FAXは自動)

